

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

第 1 回プラットフォーム

日時：令和 6 年 11 月 25 日（月）午後 3 時～午後 4 時 30 分

場所：産業振興と人材育成の拠点「エス・バード」B203/B204 会議室

次 第

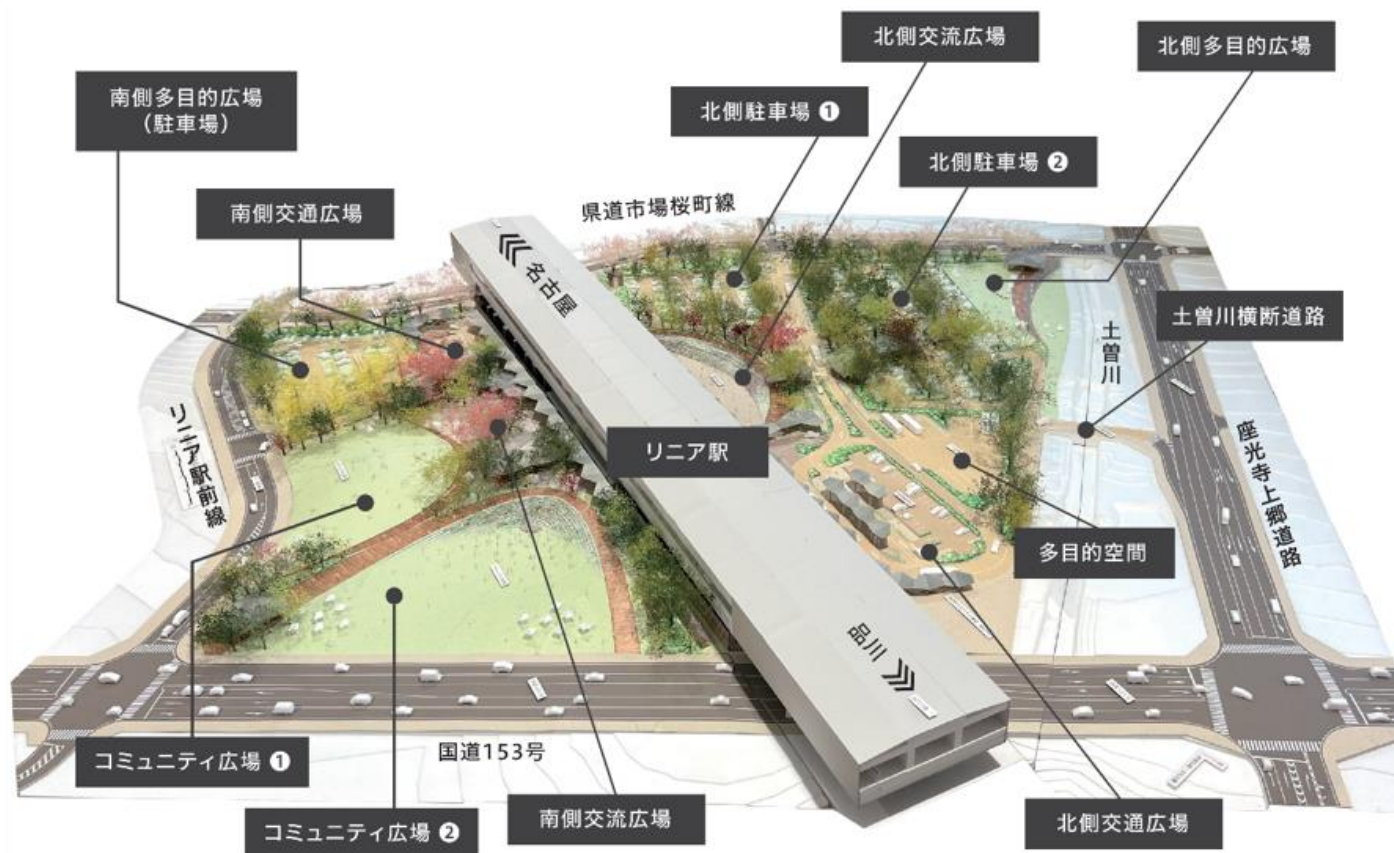
1. 開会挨拶
2. 情報のご共有
 - ・ 「飯田・リニア駅前広場の整備方針」について（飯田市）
 - ・ 「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」の概要、「飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラム振り返り」について（NTT データ経営研究所）
3. ワークショップ

テーマ：「一部供用開始（2028 年度～）時点」での広場利活用について
4. 事務連絡

【配布資料】

- 次第
- 資料 1 飯田市資料
- 資料 2 NTT データ経営研究所資料
- 「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」会員登録・アンケート回答のお願い

飯田・リニア駅前広場の 整備方針について



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

これまでの検討経過

- ・ 2014年 リニア駅前空間の整備コンセプトの検討開始
- ・ 2015年 リニア駅周辺整備基本構想策定
- ・ 2017年 リニア駅周辺整備基本計画策定
- ・ 2019年 基本設計の成果として
『飯田・リニア駅前空間デザインノート』発行
- ・ 2022年 リニア駅前空間にかかわる実施設計公表（土木関係）



『飯田・リニア駅前空間デザインノート2024』の発行



整備方針

リニア駅前空間の考え方

リニア駅前空間は、次の基本理念と整備コンセプトをもとに設計されています。

リニア駅周辺整備区域が目指す姿（基本的な理念 | 基本構想より）

ローカル

グローバル

ゲートウェイ

信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口

整備コンセプト（基本計画より）

機能的でコンパクトな駅空間

高度なトランジットハブの形成により

スムーズな乗換えを実現

信州・伊那谷らしさを感じられる駅空間

来訪者へのおもてなしを実現

自然との調和を目指した駅空間

豊かな自然環境に配慮し

環境モデル都市飯田を実現

地域と一体化した駅空間

地域の一体化を実現

設計方針

- ◆ アクセスやバリアフリーに優れた駅前空間
- ◆ 住民や来訪者の居場所となる駅前空間
- ◆ 伊那谷の風景の魅力を引き出す駅前空間
- ◆ 人のつながりと伊那谷全域へといざなう駅前空間
- ◆ 時代を先取りし、変化に対応できる駅前空間

結いの広場 ～リニア駅前空間の考え方～

（飯田・リニア駅前空間デザインノートより）

リニア駅前空間は、地域の自然や歴史、文化を感じながら、新たな交流と活力を育むことができる場所、南信州の風景と暮らしをつなぐやわらかな結び目「結いの広場」をコンセプトに掲げています。



平面図及び機能

01 リニア駅

02 リニア駅とアクセス

03 北側交通広場

04 南側交通広場

05 多目的空間と次世代モビリティ

06 駐車場エリア

07 北側交流広場

08 南側交流広場



09 コミュニティ広場①②

10 多目的広場

11 高架下空間

12 グリーンインフラ

13 ピークシフト

14 水引ラインと緑化駐車場

15 大屋根

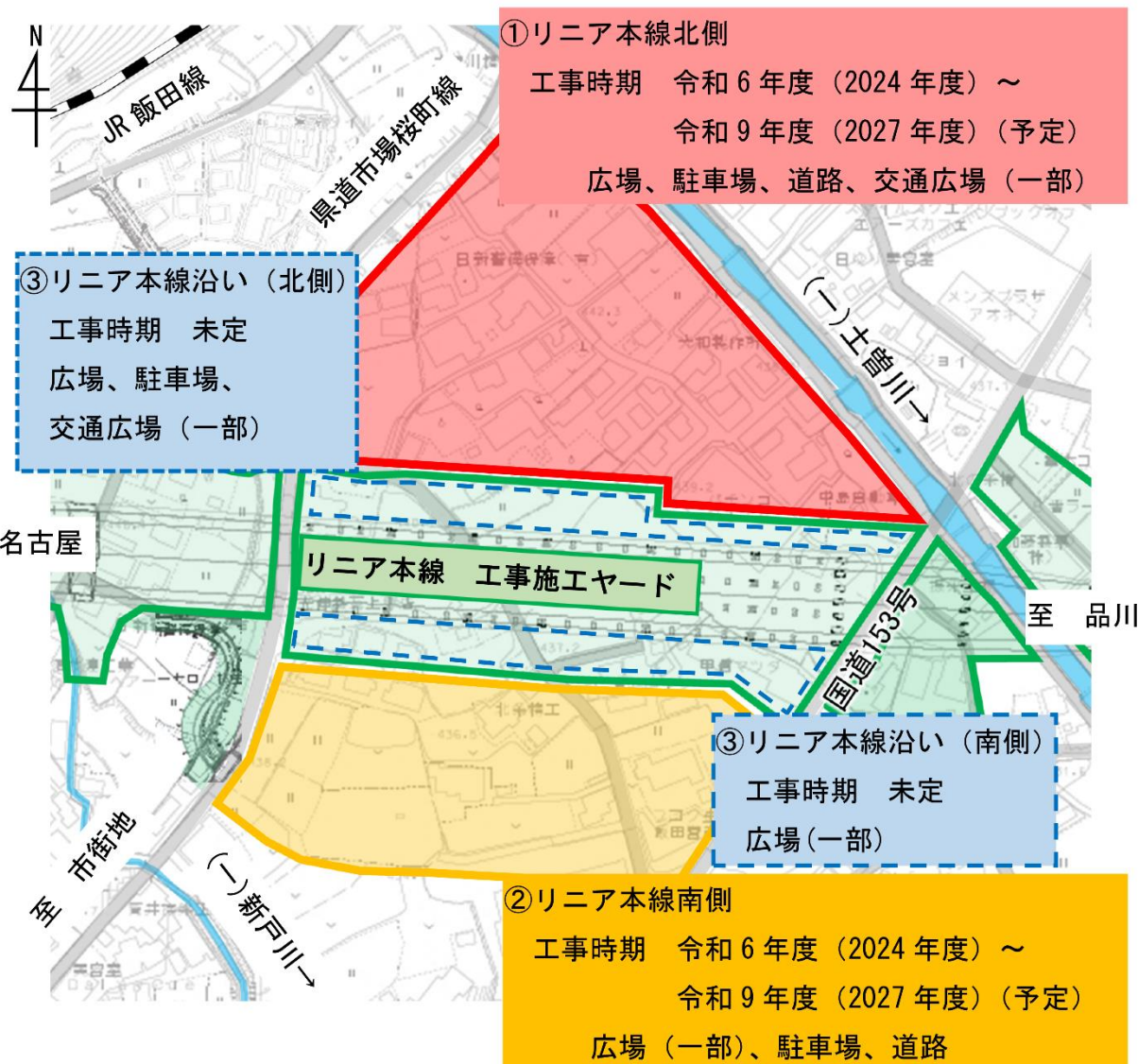
16 ゼロカーボン

17 景観

※駅舎・駅入出場口については、JR東海提供資料を参考に飯田市にて加筆しています。

※横断歩道等の路面標示については、公安委員会の許可を得たものではありません。

今後の予定について



○リニア駅前広場はリニア開業の遅れに伴い、リニア本線沿いの工事範囲を避ける形で、2028年の部分供用開始を予定しています。

○リニア本線沿いの整備については、リニア本線工事の進捗に併せて、工事時期を検討していきます。

工 事 時 期	2024 令和6年度	2025 令和7年度	2026 令和8年度	2027 令和9年度	2028 令和10年度	2029以降 令和11年度以降
①リニア本線北側 工事時期 広場、駐車場、道路、 交通広場（一部）	リニア本線北側				部分 供用 開始 （予定）	
②リニア本線南側 工事時期 広場（一部）、駐車場、道路	リニア本線南側					
③リニア本線沿い 工事時期 北側 広場、駐車場、 交通広場（一部） 南側 広場（一部）					リニア本線工事の進捗に 併せ、工事時期を検討 していきます	

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第 1 回 ご説明資料

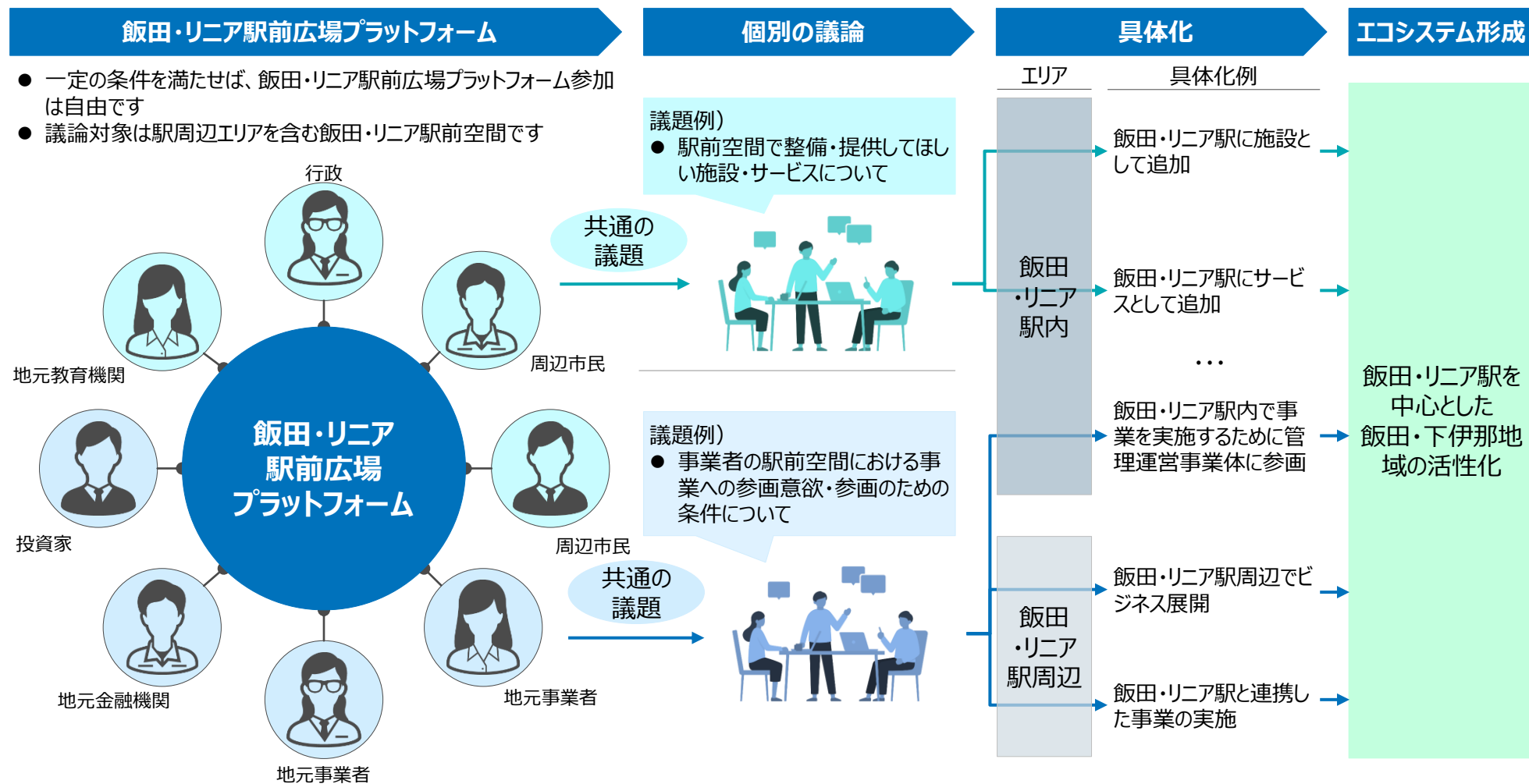
2024年11月25日

NTTデータ経営研究所 社会・環境システム戦略コンサルティングユニット

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

1. 「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」について

飯田・リニア駅前広場プラットフォームとは、市民や地元事業者等の多様な関係者が自由に参加し、飯田・リニア駅内での管理運営事業体の設立・運営に向けた議論の他、飯田・リニア駅を中心とした飯田・下伊那地域の活性化に寄与する取組の創出を促す「エコシステム」の形成を目指す組織です



飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

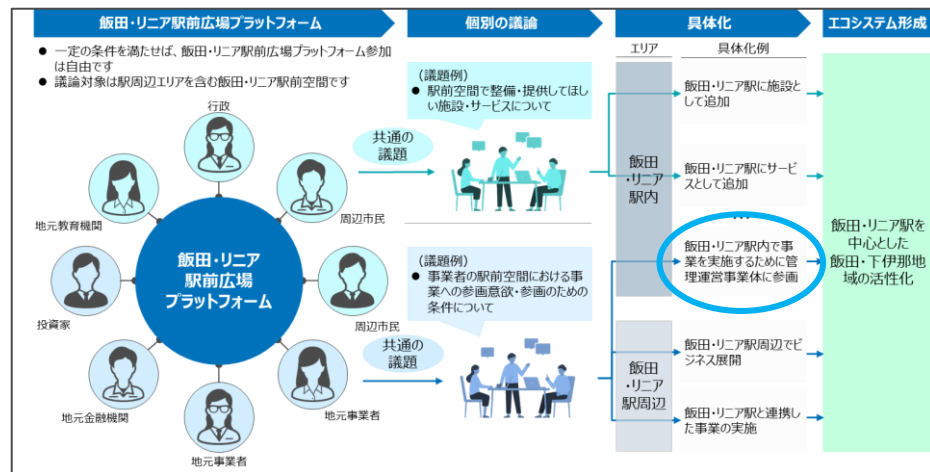
2. 「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」と「管理運営事業体」について

「管理運営事業体」とは飯田・リニア駅内で事業を実施し、駅前広場空間の管理運営を担う事業者の集合体であり、飯田・リニア駅前広場プラットフォームにおける具体化の営みにより生み出されます

具体化における管理運営事業体の概要

- 管理運営事業体は、飯田・リニア駅前広場プラットフォームに参加し、飯田・リニア駅内での事業実施を志向し、管理運営事業体の理念に共感した事業者から構成される組織体であり、具体化の営みによって生み出される

管理運営事業体の位置づけ



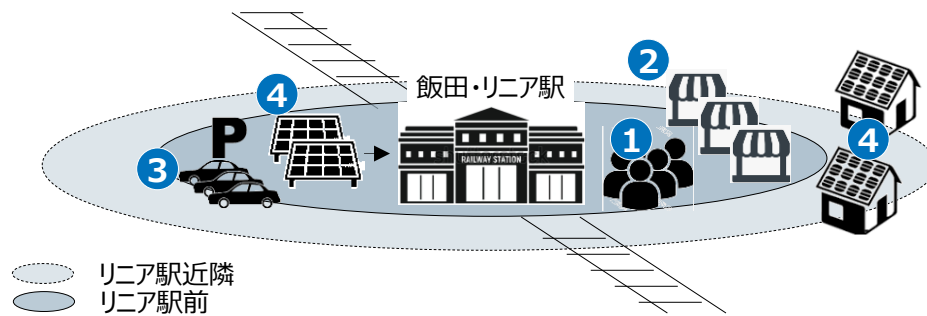
- 管理運営事業体は賑わいの創出に向けた経済的基盤の確保が期待されており、その実現のために運営事業体は駅前+近隣のインフラ事業（貸借・駐車・エネルギー等）で基盤収益を確保しながらイベントなど収益変動が大きい地域貢献事業を行う絵姿が考えられる

管理運営事業体の事業メニュー例

- 管理運営事業体による飯田・リニア駅内での事業構成は大きく地域の賑わいに関わる地域貢献事業とインフラ事業を想定

【事業構成例】

- 1 イベント等地域貢献事業**
 - 駅前広場を活用した蚤の市等イベント事業
- 2 賃貸借事業**
 - テナント企業への賃貸借事業
- 3 駐車場事業**
 - 駅前駐車場を用いたパーキング事業
- 4 エネルギー事業**
 - 周辺建物・土地等を活用した太陽光発電事業
 - 駅前施設並びに周辺建物への小売電気事業 etc...



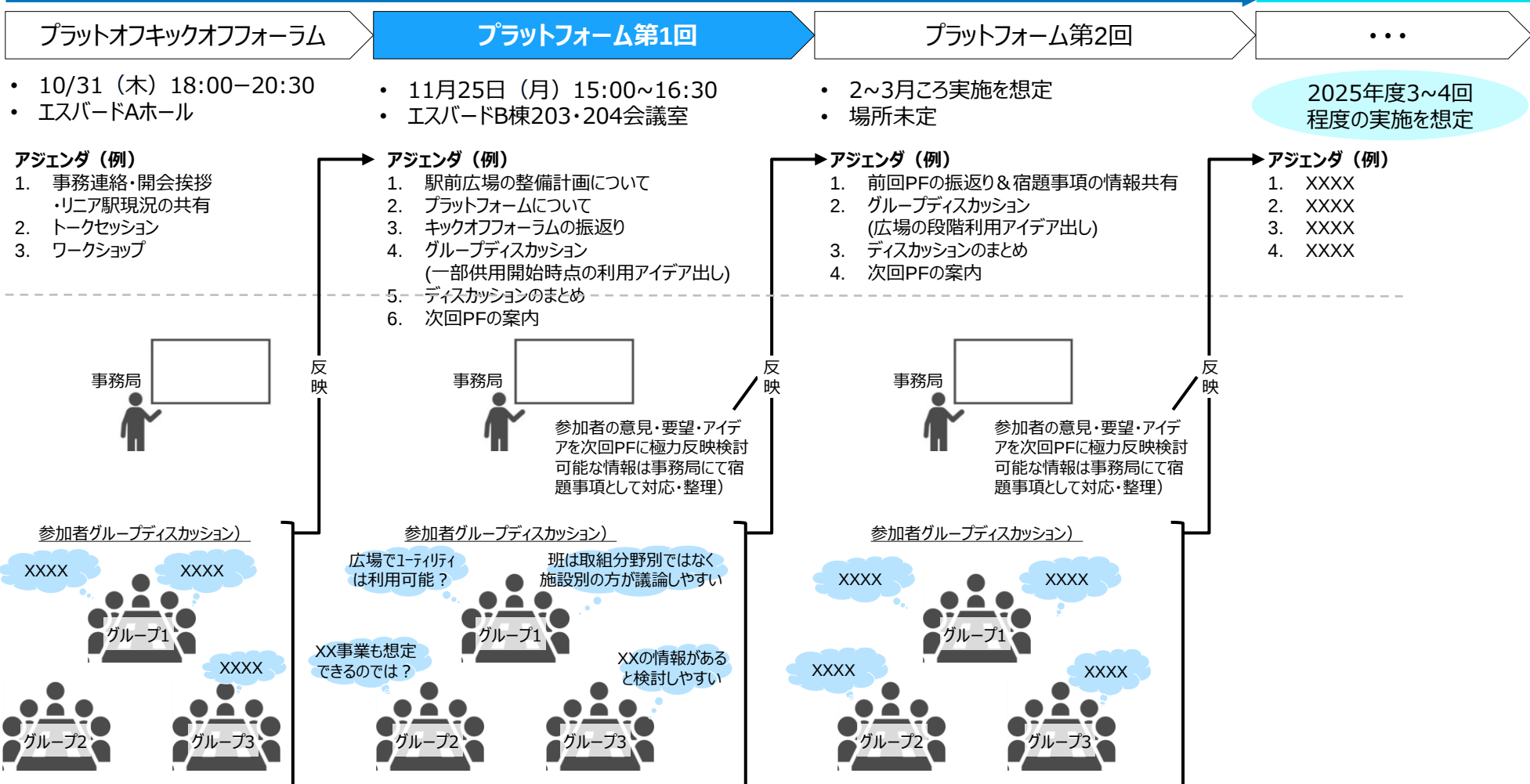
飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

3. 「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」の今後のスケジュールについて

飯田・リニア駅前広場プラットフォームは、今年度は今回を含め2回、来年度は3~4回程度の実施を想定しております

2024年度

2025年度



飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

4. 飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラム振り返り | 概要

10/31 飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラムを開催し、事業者を中心とした約120名（事務局含む）の方々にご参加いただきました

キックオフフォーラム開催実績

日時 2024年10月31日（木）18時～20時30分

会場 エス・バード A棟ホール

参加者数
※事務局含む

第1部 約120名

第2部 約 90名

第1部 18:00～19:20

1. 事務連絡・開会挨拶・リニア駅現況の共有

- （1）事務連絡
- （2）開会挨拶（佐藤市長）
- （3）リニア駅前広場の整備方針（村下リニア整備課長）

2. トークセッションご報告は次頁）

＜登壇者＞ 佐藤健氏（飯田市長）・鈴木孝弘氏（UR都市機構）
中嶋聞多氏（信州大学）・村岡元司（NDK）

- （1）各パネリスト挨拶＋UR都市機構プレゼン
- （2）パネリストによるトーク
 - 1R.駅前広場のコンセプトについて
 - 2R.駅前広場活用の時間軸について
 - 3R.事業体の経営（官民連携）について
- （3）会場からの質疑応答・トークセッションの総括
- （4）「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」について

次第

第2部 19:30～20:30

3. ワークショップ

- （1）「リニア駅前広場の活用について」をテーマに、一部供用開始時点の図面（下図）を参照しながら、一部供用開始を念頭に置きつつグループで討議（8グループ）

使用した図面



ワークショップの様子



- （2）各グループの意見を発表

4. 閉会

- （1）閉会挨拶（中嶋先生）

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

参考 | 飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラム 振り返り通信

10月31日「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム キックオフフォーラム」の開催概要は、飯田市WEBサイトにも掲載されています。ぜひご覧ください

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム - 振り返り通信 創刊号

- 10/31（木）にエス・バードにてリニア駅前広場プラットフォームのキックオフフォーラムが開催されました
- 第1部で駅前広場の整備方針の説明やパネリストによるトークセッションが行われ、第2部では来場の皆様に今後広場を活用して展開していく事業やサービスについてワークショップも行っていました

キックオフフォーラム開催実績

キックオフフォーラムの様子

日時	2024年10月31日（木）18時～20時30分
会場	エス・バード A棟ホール
参加者数	約120名（事務局含む）

飯田・リニア駅前広場プラットフォームとは...

- リニア駅前広場や公民協働の仕組みづくりに関することを知っていただき、リニア駅前広場の活用について参加者の皆さんと一緒に考えていきます

主なプログラム

第1部
1. 飯田・リニア駅前広場の整備方針
2. トークセッション～リニア駅前広場と官民連携について～
第2部
3. ワークショップ～リニア駅前広場の活用について～

第1部：飯田・リニア駅前広場の整備方針、トークセッション

飯田市リニア整備課より部分供用時点での整備イメージについてを3Dデータと共に、UR都市機構鈴木様より官民連携の重要性や他都市事例についてご説明を頂きました。

飯田・リニア駅前広場をどう作っていくかにつきまして、パネリストの方々（信州大学中嶋先生、UR都市機構鈴木様、飯田市長佐藤様）にご意見を伺いました。



第2部：ワークショップ

来場の皆様にご参加いただき、様々な職種・立場の人が、今後広場を活用して展開していく事業やサービスについて議論をしました。



- リニア駅前広場プラットフォームでは、広場を活用して展開していく事業やサービスについて飯田市の皆様と共に実現を目指してまいります

ワークショップの概要

- 参加者の皆様には、飯田・リニア駅前広場の活用にあたり、展開していく事業やサービスについて付箋へ書き出していただきました
- 書き出した付箋は飯田・リニア駅前広場の図面に張り付けながら、実現に向けた議論が行われました



意見交換の様子



意見が張り出された図面

ワークショップで出された主な意見

- ワークショップにおいて出していたアイデアを貼った図面は、飯田市ホームページ上に公開しております

【飲食】 カフェ、スイーツ店、直売所 など	【交通】 バスターミナル、レンタカー など
【観光】 ホテル、おもてなしセンター など	【イベント】 コンサート、文化会館 など
【スポーツ施設】 テニスコート、バターゴルフ など	【その他】 水素ステーション、図書館 など

その他多数の意見を頂きました

今後の予定 | 第1回プラットフォーム開催概要

日時	2024年11月25日（月）15時～16時30分
会場	エス・バード B棟203・204会議室
内容	飯田・リニア駅前広場の活用にあたり、展開していく事業やサービスについて、参加者の皆様に議論をしていただきます

今後も定期的なプラットフォームの開催を行ってまいりますので、是非ご参加ください

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム「振り返り通信 創刊号」は、飯田市WEBサイトに掲載されています。是非ご覧ください。
(<https://www.city.iida.lg.jp/site/iida-linear/iidaliner-platform.html>)

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

5. 飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラム振り返り | 開会挨拶

佐藤市長による開会の挨拶では、駅前広場の作り方として、3つの視点（駅前広場の賑わいの創出・経済の活性化・駅前広場だけに閉じて考えない）を持つことが重要であるとのコメントをいただきました

開会挨拶（佐藤市長より）

- 第1部でトークセッションを、第2部ではワークショップを行うが、参加者の皆様には3つの視点で考えていただきたい。
- 1つ目は「どのように駅前広場で賑わいを作るか」という視点。JR東海の説明では開業は10年以上先になるが、駅前広場整備については、開業を待たずに2027年度までに一定の整備を終え、2028年度に一部供用を開始したい。供用を開始した際には人が集う場所、賑わいのある場所にしたい。どのようにすれば、賑わいのある空間になるか、市民の目線、事業者の目線、その他の視点より考え、アイデアを出して欲しい。
- 2つ目は「経済を活性化させる」という視点。にぎわう場所であり、かつ、地元の経済にとっていい場所であるためにはどのようにすればいいのか、つまり地元にお金が回る、地元が潤うためにはどのような枠組みが必要かを考えていただきたい。例えばナショナルチェーンを並べることによる賑わいの作り方もあるが、その場合には売り上げは地域には回らず、人件費としてお金が残るのみで、それ以外は外に出て行ってしまう。地元の経済をよくするためにどのような枠組みがいいのか、どのようなものがあつたらいいのかを考えていただきたい
- 3つ目は「駅前広場だけで考えない」という視点。駅前広場が賑わいつつ経済が回ることから視点を広げ、将来的にリニアの駅として機能する際に、駅前広場がまち全体の中でどのような機能を持つべきかを考えていただきたい。駅前広場6.5haにはどのような機能が、周辺にはどのような機能が必要かということ。リニアが通る際のまちづくりとして、「このようなまちになってほしい」と考え、駅前広場はどのような機能を持つべきなのか、と考えてほしい。一市民、都会から来た人、インバウンドの視点等もある。駅前広場だけのことでなく、まちづくり全体でみた時に、駅前広場・リニア駅がどのような機能を果たすのか、という視点を持っていただきたい。
- 3つの視点を頭において、1部のトークセッションを聞いていただき、またワークショップにも参加して頂きたい。特にワークショップでは色々な話を出して欲しい。

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

6. 飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラム振り返り | トークセッション

第1部トークセッションでは、駅前広場のコンセプト・駅前広場の時間軸・事業体の経営（官民連携）について、市長をはじめとしたパネリストの皆様から、以下のご発言がありました

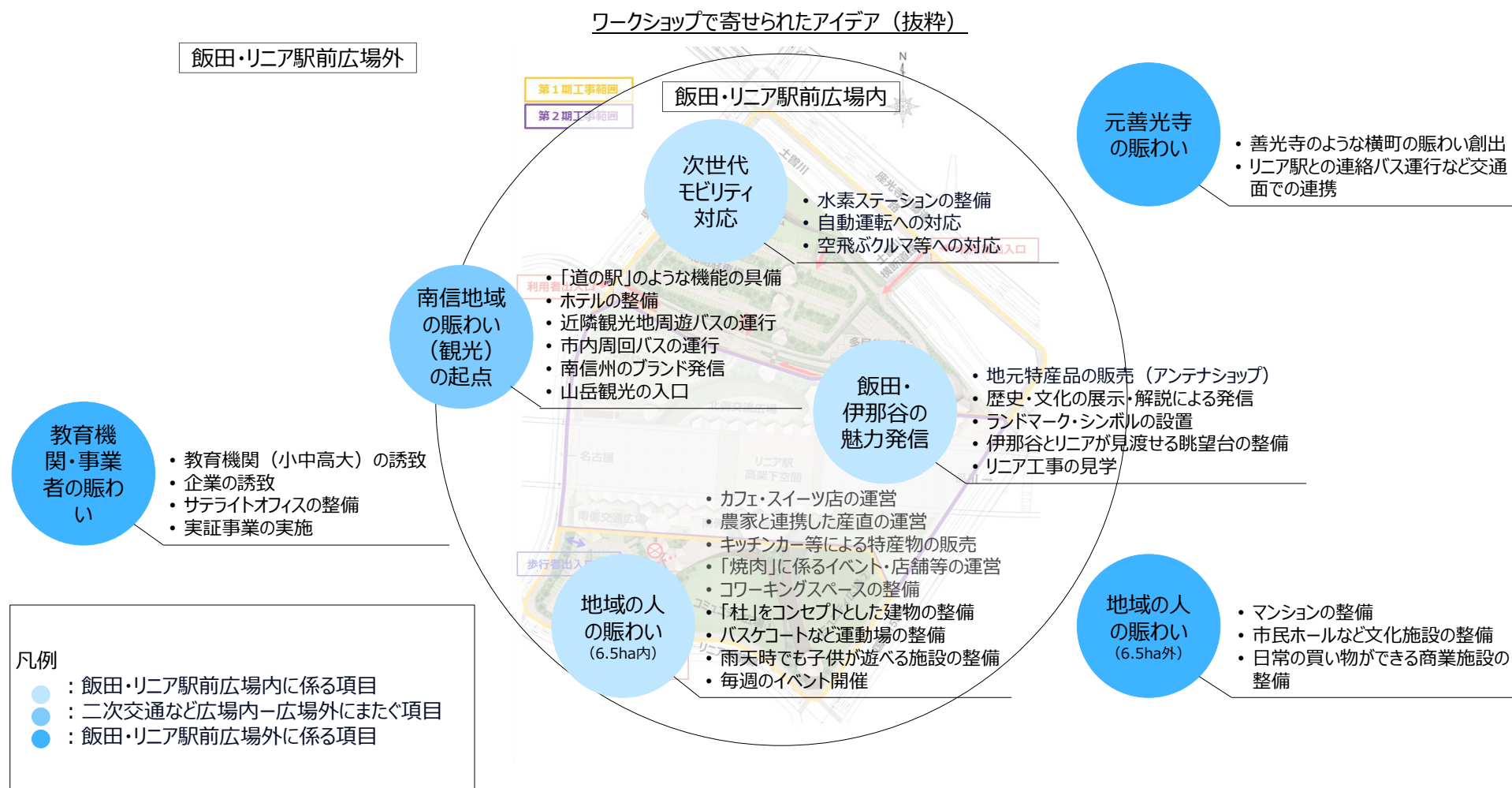
議事内容

1R. 駅前広場の コンセプト について	● 地元の方がどう考えるかをお聞きして反映させることが重要であると考えている。地元の方々や事業者の方と作り、育てていく場を用意するつもりであり、駅前広場での事業について相談できる常設場所の設置や、広くアイデアを拾うことを考えている。（中嶋教授） ● 駅前広場の作り方として、3つの視点（駅前広場の賑わいの創出・経済の活性化・駅前広場だけに閉じて考えない）で考えていただきたいと申したが、道の駅のようなイメージの駅前広場を作ってほしいと考えている。賑わいがあり、地元の経済に資する場所であり、まちへ繰り出す起点となる場所になってほしいという意味である。（佐藤市長） ● 官民連携の中で、「関わりしろ」という言葉を使う。関わってもらえる余白という意味で、大きいほどに様々なことを考えていけると思う。（UR都市機構 鈴木部長）
2R. 駅前広場 活用の時間軸 について	● 新宿駅ほどの乗降客数ではないので、外から来る人をあてにするよりは、日常的に地元の人を使う場となることをメインに考えている。リニア開通時には都会の人やインバウンドの方が来ることになり、第一印象を与える場所となるため、「地元らしさを感じられるが、スタイリッシュな空間」を創出できればと考えている。（佐藤市長） ● 開業の遅れをポジティブにとらえると、トライする時間の余裕が生まれたとも言える。どんな人が、どのような行動をとるのかをイメージすることで解像度を上げるほうが具体化するかと思う。例えば、駅を降りてどのような行動をとってもらえるのが望ましいかを考えることが重要である。（UR都市機構 鈴木部長） ● 一番の問題として、駅舎予定地の広場の真ん中を境に南北で分断されて一部供用がなされることがある。行き来が難しくなるとわれ、回り道をして移動することとなる。だがポジティブに考えると、2つの広場があるともとらえられる。2つの広場それぞれに意味を持たせて活用し、本開業した時につながることでセカンドチャンスになるとも考えられる。（信州大学 中嶋教授）
3R. 事業体の経営 （官民連携） について	● 最初からできるスーパーマンがいるのではなく、小さなチャレンジのプロセスを繰り返す中で、覚醒する方が出てくるというケースの方が多い。様々な肩書の幅広い方に関わっていただきながら作り上げていくのが現実に近いと感じている。（UR都市機構 鈴木部長） ● 地元の経済に寄与し、活躍できる場を提供するための公共の関わり方が望ましい。お金の使い方という点で、外に出るお金か、中で回るお金かという視点が重要になるかと思う。（佐藤市長） ● まず広場を作り、周りでも様々な形の展開があって、地元の方がふらっと訪れることができる場所となればよいと考えている。複数の軸を持ったまちづくり、すなわち従来のまちを活かしながら、リニアの開業も生かすまちづくりを形にしたい。（信州大学 中嶋教授）

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

7. 飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラム振り返り | ワークショップ

キックオフフォーラム「ワークショップ」では、「リニア駅前広場の活用について」をテーマに、287の意見・アイデアを頂戴しました（別紙参照）。



飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

参考 | キックオフフォーラム第2部「ワークショップ」で出た意見・アイデアリスト 1/4

分類

意見・アイデア

①駅前広場の整備・運営に関する考え方

全般的なもの	各世代（幼児・学生・主婦・高齢者）が楽 しめる・使える空間	学園都市	それとなく地域の歴史・文化が感じられる場・ 工夫？（遺跡など）	環境といったら"長野県駅"
	環境文化・都市を感じられる	地域コミュニティーの場	市→県 アンテナ	農産物の集荷拠点→リニアで首都圏へ輸送
	平日の賑わい、駅周辺のまちづくり	木材のトレーサビリティ、地域廃材の利活用を通じた大屋根への愛着の醸成→セルフメンテナンス	リニア駅開業前後共通で、有益な施設を行政サービス 人を集める→明確な目的を	直線→曲線（時間軸の違いを感じられる場）らしさ
	単なる交通拠点とならないしつらえ、工夫	エコライフビレッジ	リニア駅で終わらない生のリアルへ導く「ワクワクする南信州に出会える場所」→南信州をす気になる場所→移住	経済ベース「外資系リニア駅」にしない。南信州各地場に直接お金が落ちる工夫（原風景を）守る
	飯田にたちよりたくなるような場所（3000人？来飯？）	使用料が課題	交流が生まれる、新しい趣味にであえる広場	建物が木のぬくもり、劣化しない、エモいデザイン
	働く場			
市内・市外・南信地域の交通・観光拠点	リニア駅周りだけを見るのではなく、南信州全体への交通・観光を考えていく	＜開業前提＞ 南信観光の起点	山岳観光の入口機能	他の地域にはない飯田市・伊那谷の特色が視覚的にわかる理解できるようなコース
	南アルプス・中央アルプスブランディング（山岳ギア・アウトドアブランドとのコラボ等）	直接お金が落ちる工夫→アドベンチャーツーリズム←市町村があるリニア駅	南信州の過疎町村・過疎エリアのブランド発信施設	地域のブランドを生み出す共創の拠点
	飯田駅や元善光寺駅への無料バス	元善光寺横丁	周辺を俯瞰できるアクティビティ	周遊バス
	元善光寺につながる町づくり、城下町風なつくり	元善光寺17前町構想	元善光寺前の参道横町）※お店を充実	交通ハブ
	JR東海飯田線・秘境駅巡り	南アルプスジオパークの活用	二次交通（自動運転・空飛ぶ車）	2次交通→移動確保
	グリーン水素を活用した二次交通による飯田市内や周辺の市町村との交通の結節点として	（開業前提）飯田の魅力飲食、物販等）が詰まっている。味見程度	飯田のいいところ（自然、経済等）情報発信	歴史・文化（周辺市含め）
	MICE	元善光寺へ続く参道を横町にしたいお店を充実させたい	バスターミナル（遠山、天竜峡、中ア、南ア等）	
こども子育て	親子で楽しむ場所	（部分共用） 子どもたちが思いっきり遊べる空間	親子で遊べる場所	子供が遊べる、遊具がある場所
	子どもたちの憩いの場			
産業振興・企業誘致	ここに来たら、グリーン水素が使える、試せる環境→研究開発	オフィス街	エスバードでトライアル実証→駅前広場で実践	上場企業
	企業誘致	創業支援		
移住・定住促進	都心からの通勤圏内	農ある暮らしで首都圏へ通う多様な担い手	足を止めてもらうだけでなく、そこに住む人を作っていかないとけない→マンションを近くに作る？	リニア駅で終わらない生のリアルへ導く「ワクワクする南信州に出会える場所」→南信州をす気になる場所→移住
	楽市楽座（移住者を出店時に優遇する）	移住促進		

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

参考 | キックオフフォーラム第2部「ワークショップ」で出た意見・アイデアリスト 2/4

分類	意見・アイデア			
②駅前広場・周辺で想定される「店舗」「施設」等 ※				
農業、林業	体験農園	農業体験	市民農園	りんご狩り
	さくらんぼ・ブルーベリー・りんご・なし フルーツ狩り	羊を飼う→マトン・焼肉文化 命とは	農家と連携	
製造業	シードル醸造所	喜久水の酒造？	発酵	食創造体験
電気・ガス、熱供給・水道業	水素ステーション【2件】			
情報通信業	Web3.0 サーバー設置、修理事業	WEB3.0 メタバース（デパート、学校）		
運輸業、郵便業	流通基地（物流）	ブランドガイダンス施設	ロープウェイ	新交通システム（ドローンタクシー、セグウェイ、電動キックボード）
	自動運転バス・車ってどうですか	新交通ドローンタクシー電動キックボード	おもてなしタクシー	自動運転
	空飛ぶ車	パーク＆ライド		
卸売業、小売業	地域果物野菜・朝市	地域産品を担うショップ、飯田名物	直売所	直売所 野菜果物 6次産品
	移動商店街	軽トラ市	道の駅ー上質なー	何かに特化したショッピングモール
	地元の特産品を扱うお店	地のものを購入できるようなブース	地元の人たちの道の駅	ハイウェイオアシス
	地元住民だけでなく他県から人が来る商業施設があったら	駅周辺・市町村のアンテナショップを置いて、物販や情報提供して、駅周辺から周辺へ出かけてもらう	デパート（駅）	物産・お土産
	地元の人たちが多く集まる商業施設が近くにあって欲しい。イオンをもっと大きくモールに	道の駅・機能 コンテナハウス	超広域道の駅	イオンとの連携
	自然派？スーパー	朝市地物の果物・野菜 朝採れ	テント市	新鮮な農産物を入手できる
	農産物直売所	名産売場	農作物販売所	地元の産物売るショップがあってほしい
	上質な道の駅（リニアの特性を活かした）	地産品マルシェ	買い物（日常）	飯田市名産。特産のお土産と飲食をまとめて扱う場
	マルシェ 動物→中心市街地で実績あり→野生動物のために何ができる？→エコシステム	朝市・農作物の販売	買い物ができる	センスの良い道の駅
	イオンとの繋がり			

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

参考 | キックオフフォーラム第2部「ワークショップ」で出た意見・アイデアリスト 3/4

分類	意見・アイデア			
②駅前広場・周辺で想定される「店舗」・「施設」等続き				
不動産業、物品賃貸業	レンタカー【 2 件】	オフィスビル	電動スクーター	リニアの車両を置きコワーキングスペースとして利用する（子どもたちも喜ぶ）イメージ
	仕事のできる空間	高級マンション	コワーキングスペース コンテナハウス	ビジネス拠点
	仮設のプレハブ（新虎の例）で飲食・店が定期的にかわる	学習室・ワークルーム	レンタカー・レンタルバイク営業所	シェアオフィス
	AI企業へのルーム貸し出し	立体駐車場（雨に濡れないリニアまで）	地域プレーヤーを生み出すために常駐できる小さな事務所（拠点）、カフェ等が欲しい。そこを拠点にLQCな集まりを少しずつ始める	仮設的なもの
	小さなチャレンジショップ	コワーキングスペース		
宿泊業、飲食サービス業	キッチンカー【 4 件】	ホテル宿泊所【 3 件】	ホテル【 2 件】	素敵な飲食店があってほしい
	普段使いできる飲食店	りんご酢カフェ	地元の食の通り	食に関する事業 飲食→キッチンカー
	トラヤさん	カフェ	食	手ぶらで飯田焼肉
	大型スイーツ店	おいしいランチが食べられる飲食店	飯田焼肉横町	繁盛店2号店
	逆に飯田にないものがある場所海鮮など	ホテル・マンション	キャンプ	おしゃれなカフェ
	街中アウトドア	ビジネスホテル	飲食店	古民家のような宿泊施設
	蛇口からリングジュース			
	生活関連サービス業、娯楽業	大型BBQスペース	キッズアドベンチャー（室内）子供 有料 時間	人形劇
	アウトドアアクティビティ	観覧車	ライブステージ	温泉施設
	荷物預り所・コインロッカー	スケボーパーク	南アルプスが眺められる足湯	スケボーパーク
	体育館、バスケットコート（ミニバス）	釣り堀	（若者が）挑戦できる競技・大会スペースの提供BMXなど	子供が遊べるような場所（例）屋上トランポリン
	焼肉・BBQ	街中サウナ	常設エンタメ施設	焼肉スペース→炊き出し
	人とつながる場所（イベント会場）	e-スポーツ大型ビジョンホール	温泉	BBQ施設
	バスケット・テニス・フットサルコート		テニスコート	パターゴルフ場
	遊び（子供）	スポーツ【 2 件】	観光プラットフォーム・コトの販売	
医療、福祉	保育園託児所	サービス付高齢者住宅		

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回

参考 | キックオフフォーラム第2部「ワークショップ」で出た意見・アイデアリスト 4/4

分類	意見・アイデア			
②駅前広場・周辺で想定される「店舗」・「施設」等(続き)				
教育、学習支援業	文理融合大学サテライト→キャンパス	有名人気高校	有名人気大学	小中高大一貫校
	市民が学びあえる施設	子どもたちが未来を想像できるVRを体験できる場所	遺跡発掘調査の成果（1500年前のムラがここにあった！）の展示・解説	駅・広場用地の歴史についての展示（発掘調査結果、近現代の北条・・・）
	小中高大一貫校	インバウンド向け南信州の動物飼育（カモシカ、ブッポウソウ）→言葉がわからない誰でも集まれる）	動物→教育	地域プレイヤーが重要→地域に愛される施設を 分かりやすいにはライブラリ、サテライトキャンパス（知の拠点）
	飯田・下伊那の特色を紹介する歴史館（お城風）			
サービス業・他に分類されないもの	文化拠点	文化会館	文化施設併設	市民ホール(文化会館)を作って欲しい
	イベントホールが欲しい	アリーナ1万人		
③駅前広場・周辺で想定される「設備」・「ファシリティ」等				
	トイレ【2件】	水辺	市内中心部への交通（進化したバス・タクシー・・・etc）の発着	木陰ベンチ
	水辺・日陰	周辺を歩ける遊歩道	花 バラ園？	発表の場（ステージ）＋音響設備
	屋根	ステージ（屋根付）	子供が遊べる屋内施設	遊具のあるパーク
	ブランコ →マンホールトイレ	発電遊具	ランドマーク的なものが欲しい（広場内、隣接地）	毎週何か（イベントなど）やっている広場
	雨が降っても集まれる場所	ソーラーカーポート（多目的利用）	冬対策	杜の建物・トトロ
	全天候型の巨大空間	南北に橋をかける	シンボル	飯田ならではのアイキャッチ金沢駅のような）orレガシー
	南側は大型屋内施設	イベント会場は雨天決行できるようにしてほしい	大型遊具（全天候型）	雨天使用可能な多目的広場
	イベントスペース フリーマーケット	野外イベント広場（仮使用）	眺望展望台	景観の見える箇所（リニア本線上等）
	防災施設	パブリックビュー・交流スペース→情報ステーション	ジョギングコース	
④駅前広場・周辺で想定される「イベント」				
	企業家・学生・移住者・交流イベント	花火大会	コンサート【2件】	焼肉大会
	多目的広場のどぶろくまつり	コミュニティ広場南信州果物まつり	屋外ライブができるようなところ	高校生主催のイベント
	星空	街中での星活	南北広場対抗●●	お祭り
	コミュニティ広場イベントワインまつり	イベント	コミュニティ広場 よさこいまつり	コミュニティ広場 子どもの夏祭り
	運動会			
⑤「リニア関連」の取り組み				
	リニアが見える場所	工事が見える展望台	工事見学	リニア展

8. 本日のワークショップ

■ テーマ：

「一部供用開始（2028年度～）時点」での広場利活用について

■ 進め方

- ① 自己紹介（5分間）
- ② アイスブレイクを兼ねて、机上図面（マップ）を見ながら、グループ内でディスカッション（5分間）
- ③ ご自身の意見・アイデアをポストイットに書き出す（5分）
- ④ ご自身の意見・アイデアを発表しながら、机上図面（マップ）に貼り出す（15分）
- ⑤ ポストイットに記載された意見を見ながら、「分類」できないかディスカッション（15分）
- ⑥ グループごとに意見を発表・質疑応答（15分）
- ⑦ 信州大学 中嶋特任教授（公民協働ブランドクリエイティブプロジェクト）より総括（5分）

■ ポイント

- ・ 「キックオフフォーラム」ワークショップで出た287の意見・アイデア（前ページのリスト）を参照しつつ、「既存アイデアの深掘り」、「新しいアイデアの追加」等自由にお考え下さい。
- ・ 一部供用開始時点での、広場の整備イメージは机上の図面（マップ）となります。
- ・ 出していただく意見・アイデアは、住民の目線、企業・事業者の目線、来訪者・観光客の目線等、様々な立場でお考えいただいて結構です。
- ・ 是非、キックオフフォーラムで市長から言及のあった、「駅前広場の賑わい創出」、「経済活性化」、「駅前広場だけに閉じて考えない」の3点もご留意いただけますと幸いです。

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

会員登録のご案内

「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」は、以下のとおり会員登録をお願いしております。
今後の継続的な開催に向け、是非ご登録をよろしくお願いいたします。

1. 名称：
飯田・リニア駅前広場プラットフォーム
2. 目的：
市民や地元事業者等の多様な関係者が自由に参加し、飯田・リニア駅内での管理運営事業体の設立・運営に向けた議論の他、飯田・リニア駅を中心とした飯田・下伊那地域の活性化に寄与する取組の創出を促す「エコシステム」の形成を目指す
3. 会員：
本プラットフォームの目的に賛同する「個人会員」と「企業・団体会員」によって組織する
4. 年会費：
無料
5. 会員登録方法：
Google Formsからの登録 <https://forms.gle/6pc81JvsiMWJHe978>
6. その他：
具体の運営方法については決まり次第、ご案内する
7. 事務局：
飯田市リニア推進部リニア整備課、株式会社NTTデータ経営研究所

NTT DATA

株式会社NTTデータ経営研究所